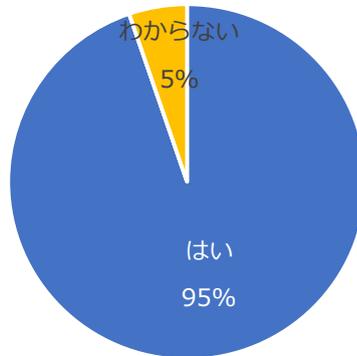
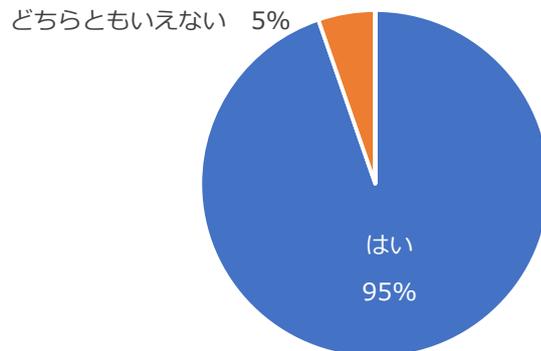


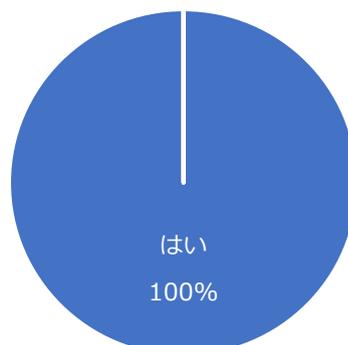
1. 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか



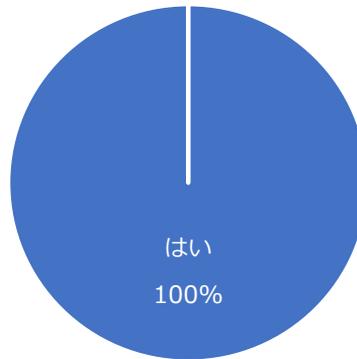
2. 職員の配置数や専門性は適切であるか



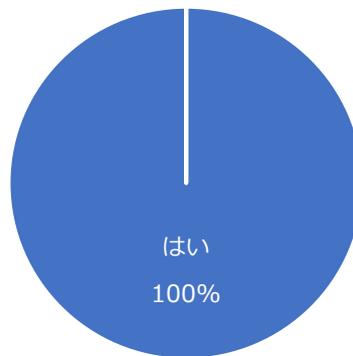
3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1 になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか



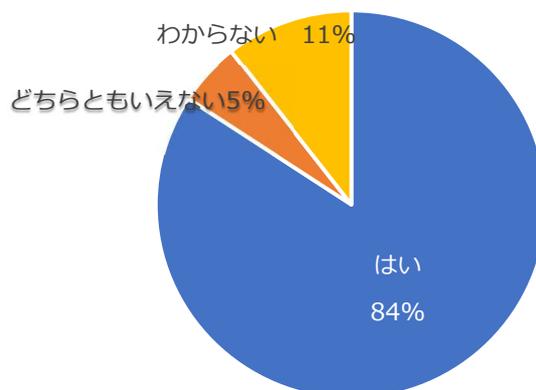
4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか



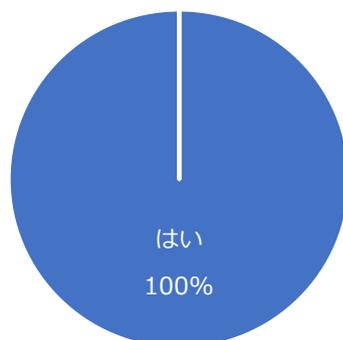
5. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか



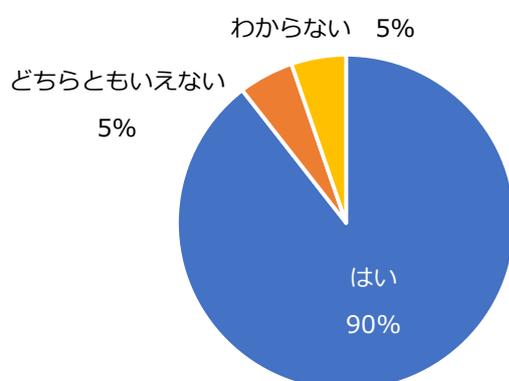
6. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか



7. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか



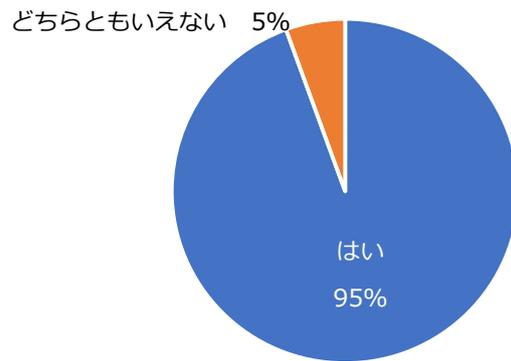
8. 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか



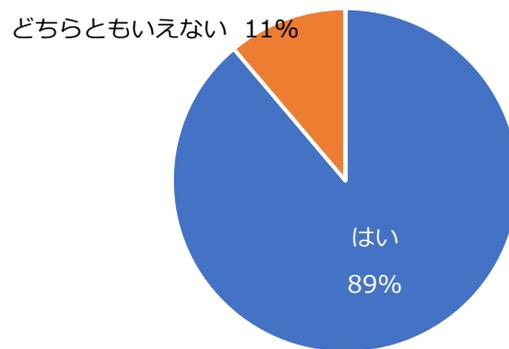
9. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか



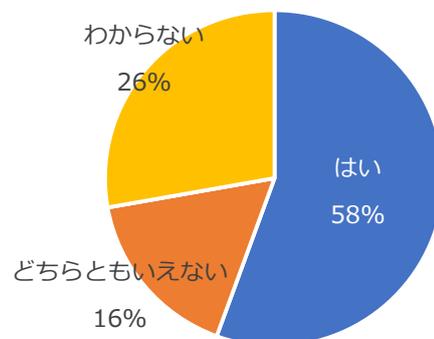
10. 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか



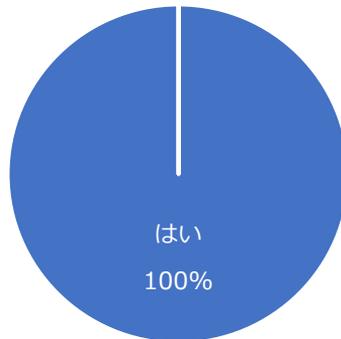
11. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか



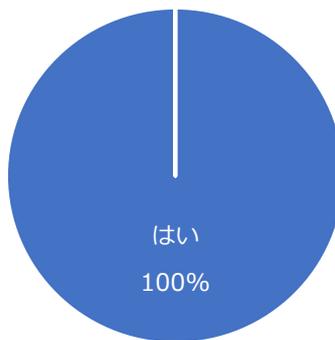
12. 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか



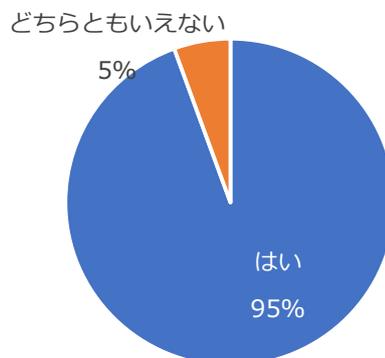
13. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか



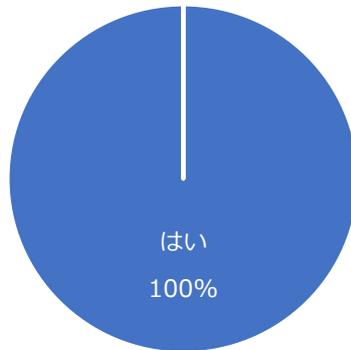
14. 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



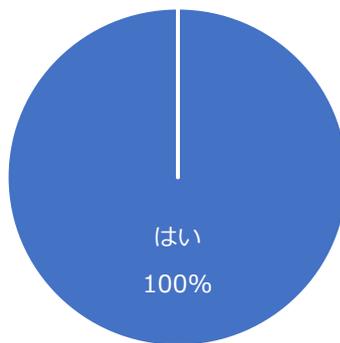
15. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



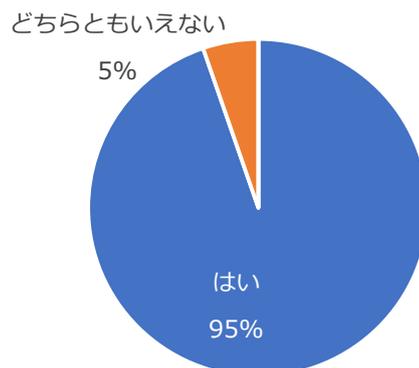
16. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか



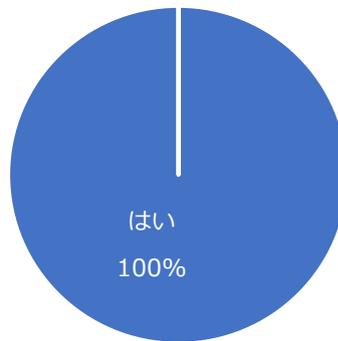
17. 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



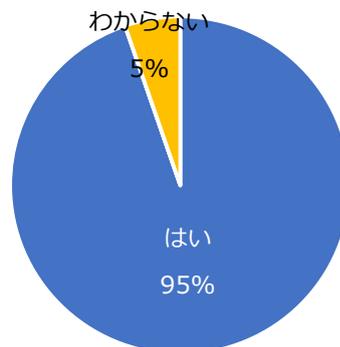
18. 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか



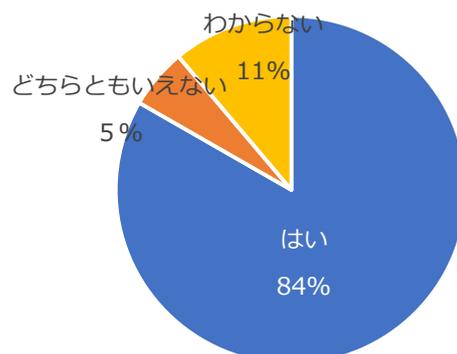
19. 個人情報の取り扱いに十分注意されているか



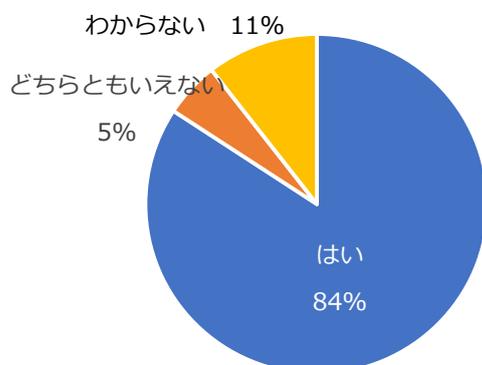
20. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。
また、発生を想定した訓練が実施されているか。



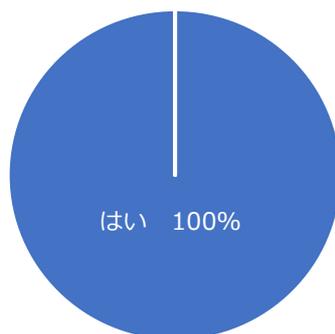
21. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



22. 子どもは通所を楽しみにしているか



23. 事業所の支援に満足しているか



【事業所より】保護者・スタッフ両方の自己評価結果を照合し職員会議を実施し、検証した。

- ・年度の途中で、コロナ対応が5類に変更となったが、感染対策には引き続き注意を怠らず行ったので、園内での感染症の流行はなかった。保護者のお子さんへの日常的な健康管理への配慮の成果でもあろう。また、食育の観点からもスタッフも子どもたちと昼食を食すことや、保育参観も再開できた。
- ・昨年度までの避難訓練を実施しているかわからないといった保護者の回答が今年度も見られた。コロナ禍の間も避難訓練は実施しており、降園時に保護者に訓練の様子をお伝えしていたが充分ではなかったようであるので、日常の保育場面の様子も画像で各保護者にお示しするようにした。
- ・関連機関連携は、併用している幼稚園・保育園・地域の小学校・支援学校との見学、訪問、情報共有等を必要に応じて行えた。

- ・今年度四月より、文京区の自立支援協議会の中で子ども支援専門部会が新たに立ち上がり、職員がその部員にもなっているので、子ども中心としたつなぎの支援、縦横連携を、利用児だけでなく広く地域の子どもたちについて協議もおこなえる体制となっている。
- ・クリスマスには、障がいのある成人の方によるピアノコンサートも開き、地域の方にもお声をかけ、参加いただいた。保護者の集いも例年通り実施できた。

保護者向け 児童発達支援評価表に頂いたご意見 集約

【環境・体制整備について】

- ・息子はのびのび過ごしています。
- ・とても安全できれいです。
- ・いつも新しい教材があり、感激です。
- ・室内と園庭が使えて十分な広さがあります。
- ・隣接している富坂まきば保育園との交流機会も多く、保育者の方の行事参加も盛んになされていると思います。
- ・いつもきれいに清掃されており、子どもも意欲的に活動に取り組めるように配慮されていると思います。
- ・構造化は非常によくできていると思います。他方、バリアフリーについては、一部段差がある箇所や、構外すぐのスペースに商用車が入ることがあり、安全配慮を要すると考えます。

【適切な支援の提供について】

- ・息子にぴったりの指導をしてくださっています。
- ・コロナ禍のため、他施設との交流は難しいと思います。
- ・先生が多く、目が行き届いていると思います。
- ・製作物や活動プログラムの内容が、変化に富んでいて、工夫されているように感じております。
- ・活動見学（保育参観）がないので、口頭でのみの報告のため、想像となってしまうため、現場の様子も見て、よりわが子の理解を深めたいと思いました。
- ・子供に合った活動内容を考えていただいています。
- ・隣が保育園なので交流する機会があります。

【保護者への説明・相談・助言等について】

- ・いつも的確なアドバイスを下さいます。
- ・帰りに活動内容を伝えていただき、出来るようになったことや興味をもちはじめたことを知ることが出来ます。
- ・いつも相談にのっていただき感謝です。
- ・保護者会は大変有意義で、楽しい時間を過ごすことができました。
- ・定期的に保護者会が開催され、情報共有の場が設置されていると思います。
- ・メールやLINEで、連絡ができるため、迅速に対応いただけて大変助かります。
- ・LINEやメールでの迅速なやりとりができることが助かっています。

- ・ LINE での日々の連絡や行事の様子の報告などがあり、助かっています。
- ・ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達も LINE などでできます。
- ・ Facebook、会報で行事の様子などを知ることができている。なお、行事に参加していない人も HP などで内容が見られる専用ページがあると良いと思います。
- ・ 保護者の集いなどが定期的に開催されているので、参加がしやすいです。

【非常時等の対応について】

- ・ きちんと説明していただきました。
- ・ 避難訓練など、コロナ禍に実施されなかった行事については改めて開催してもらいたい。
(本年度から、引き取り訓練・保育参観は再開した。避難訓練はコロナ禍中も継続実施していたが、告知が充分ではなかったため、画像等で様子をお示しするようにした)

【満足度について】

- ・ 先生方に愛されている自信があるようです。感謝でいっぱいです。
- ・ 幼稚園以外で安心して楽しみに通所できて、子供の大切な居場所です。
- ・ 子どもは通所をとても楽しみにしています。
- ・ 子どもも毎週楽しみに通っております。活動内容に変化があって楽しいようです。
- ・ 素晴らしい先生に囲まれて子どもも楽しく過ごせており、非常に満足しています。
- ・ 気分にムラがあるので、子どもが通所を楽しみにしているかわからない。

※太字部分が今年度の感想